

* 毎週火曜日の支援行動が決まりました！今回は野菜配送！



被害がひどかった陸前高田市にある広田半島。そこにある広田町喜多公民館に、全国の農民連から届けられた、ほうれん草やキャベツ、かんきつ類等要望を受けて届けました。コミュニティがしっかりしていて、世話役が集まり早速届けたミニトマトをわけていました。この公民館には地域の物資センターの役割があり、ここから4地域、約200世帯のお宅へ物資が届けられます。この半島は電気が4月9日に復旧し、冷蔵庫が使えるようになったので、生鮮が嬉しいと「全国の皆さんに甘えます」とリーダーの節郎さん、漸くの笑顔でした。公民館には他にも米やレトルトの豚の角煮などが届けられていました。

19日は雪が舞う寒さでしたが、前日までの暖かさで桜も咲いていました。リーダーの節郎さんは地震があった当日、津波が家々を襲う様子を自分が撮った写真で説明してくれました。通ってきた道を思い浮かべ、足が震えました。

地域はまだ瓦礫でいっぱいですが、その中でガソリンスタンドが営業していました。広田半島はまだ復旧していない道路があり、喜多公民館も半島を一周しないと行けません、継続して支援してもらおうのが励みになると皆さん元気でした。



* 一番の要望「家がほしい」

魔法の杖でパッと建ててプレゼントしたいところですが、罹災証明もままならず、なかなか生活再建への道筋が見えていません。

国会での特別立法の進展を期待したところですが。水道の復旧が8月末の見通しの広田半島は、井戸の水も飲料にはならない塩水が多く、給水車頼みが悩みの種です。交代で炊事当番をしながらも、炊き出しが良いと言う避難所には炊き出しをします。26日はお寺の大広間で共同生活する所に豚汁を届けます。